ペテロの手紙第一5:1-5　教会における謙遜
4か月ほど前に、YIBCは初の信徒長老としてヒロ牧師とグラント牧師を承認しました。2018年に牧師に召命されて以来、長老について説教もしましたが、これは私たち教会にとっても、また私にとっても新しいことです。私たちにとって聖書的に教会が健康であることの大きな一歩であると固く信じていましたし、実際にそうであると確信している一方で、健全な教会とは何かを理解するには、成長に伴う痛みもあると思います。私たち長老にとって、今は神に属する群れの羊飼いとしての役割を理解し、共に成長する時期です。同時に、教会の統治を会衆の手に委ねる教会規約を採択したことで、教会の体として私たち全員が成長する時期でもあります。もはや私たちが会衆制という立場をとっていると言うだけでは十分ではなく、すべての信徒が教会生活に積極的に喜びをもって参加することを励ますべき時です。そのため、YIBCのキリストの体の一致とそこに属する個々の会員がより効果的にその働きに関われるよう、教会においてこれまで以上に多くの執事が召されることを皆さんは支持してくださいました。

長老の按手については、最初の段階で少し順番が前後してしまいました。YIBCの新しい体制を整えるため、教会として彼らを選び、彼らに手を置き、按手式を行いました。ですが、福音宣教の働きのために長老候補を神学的に吟味するため、牧師たちによる召命委員会を開催しておりませんでした。先週、クロスチャーチ横須賀のクリス・トーマス牧師と阿部浩也牧師と私は、ヒロ牧師とグラント牧師を福音宣教に牧師として召命するための委員会を持ちました。私たち3人は全員一致で、この二人を召命すべきであることに同意しました。ですから、既に皆さんがこの二人を長老として選ばれたことと併せて、今日、この二人が聖書にある牧師、長老、監督の務めを果たすものとして召命されたことを認める正式な証明書を授与することができることを幸いに思います。礼拝の最後に証明書の授与をしたいと思います。ですが、この機会に、長老について、また教会のメンバーとしての私たちの責任について聖書が何を言っているのかを再び考えたいと思います。聖書のペテロの手紙第一5章1－5節から、**教会における謙遜**について聖書が全ての教会員に対して何を語っているかを見ていきたいと思います。まず、この箇所を読みましょう。「私は、あなたがたのうちの長老たちに、同じ長老の一人として、キリストの苦難の証人、やがて現される栄光にあずかる者として勧めます。 2　あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。強制されてではなく、神に従って自発的に、また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて世話をしなさい。 3　割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。 4　そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠をいただくことになります。 5　同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。」

この聖句は私たちが長老の務めを理解するうえで鍵となる箇所ですが、長老だけにとどまらず、教会全体に広く当てはまる箇所です。ここでは、長老の務めのいくつかの側面と、それが教会の健康と一致を高めるかを見ることができます。**この個所が明らかにしている長老の務めの第一の側面は、長老とは何かということです。**それを理解するのはとても簡単なのではないかと思われるかもしれませんが、私たちが所属する南部バプテスト連盟の教会では、その問いに関する議論が何年にもわたって行われてきました。牧師は賜物であり、長老とは職位であるから、これら二つの肩書を区別して、女性を長老にすることはできないけれど、牧師にすることは可能だという理論で、女性も牧師になれると主張する人たちがいます。そうした見解の問題点がこの個所にあります。長老たちに対し、使徒ペテロを通して語られる神は、彼らに対して単に長老という呼び名だけでなく、牧師や監督という呼び名も用いておられます。1節では長老という言葉がありますが、2節では彼らのことを羊飼いとして呼びかけています。「あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。」と言っておられます。「羊飼い」あるいは、私たちが時に「牧師」と訳すこの言葉は、聖書の中で2か所にしかありません。このペテロ第一5章とエペソ4:11です。「こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。」英語のEnglish Standard Version

にはエペソ4:11の脚注に「牧師」とあります。牧師という言葉が使われているのはこの2か所だけですが、現代の教会、特にバプテスト教会においては、牧師という呼び名が聖書でより一般的な長老という言葉よりもはるかに多く使われています。また長老は羊飼いや牧師と呼ばれるだけでなく、聖書において牧師や長老に用いられる3番目の呼び名である監督と呼ばれることもあります。2節の後半で「世話をしなさい。」と言っていることに注目してください。これは監督を意味する言葉で、私たちが牧師と呼ぶ職について聖書で二番目に多く使われている言葉です。ですが、聖霊はペテロを通して、単にこれが同じ職を指しているということ以上のことを私たちに教えています。長老を表すこれら3つの言葉を結びつけることで、**ペテロは長老の職務の第二の側面を、リーダーシップを伴うものとして示しています。**それは、牧することと世話をすることという2つの言葉に示されています。それは企業のCEOなどが管理し、世話することとは異なります。軍隊式のリーダーシップや、リーダーシップに関する多くの書籍で語られるものとも異なります。ペテロが何を言おうとしているのかを理解するためには、1節でペテロが自分自身についてどのように説明しているのかを見ることから始めなくてはなりません。彼は自身を「同じ長老の一人として、キリストの苦難の証人、やがて現される栄光にあずかる者**として**」と言っています。キリストの十字架の証人として、神の栄光を味わい、見ることができるようになることが、長老による教会生活におけるみ言葉の働きの目的です。なぜそれが重要なのでしょうか。長老のリーダーシップは主にみ言葉の働きを通して為されなければなりません。このことは使徒の働きの中で、使徒たちが最初の執事を選ぶことを教会に求めた場面に見ることができます。使徒の働き6:4に「私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」とあるように、彼らの教会での役割の定義は限られたものであることが分かります。神のみ言葉と、祈りつつ神のみ言葉を教会生活に適用することに捧げる時間こそが、長老の権威の源なのです。人格の強さではなく、神のみ言葉への献身こそが重要なのです。そして、神のみ言葉を教え、説教するとき、人々が十字架を中心に、あるいは福音を中心に生活するようにと導きたいのです。そのような生活とは、日々、私たちの罪とその罪ゆえに差し伸べられるキリストの恵みの必要性が更に明らかになり、十字架と日々の福音の重要性が私たちの視野において益々大きくなっていく生活です。それは、神がどのようなお方で、どれほど栄光に満ちた方でおられるかというビジョンが拡大し続けることによってのみ起こることです。その時、私たちは自分の罪が聖なる神の目にいかに恐ろしいものであることかを知るようになります。ローマ3:23は罪とは神に栄光をもたらさないものすべてであると言っています。「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」聖句をその文脈において説明し、神の栄光についての理解を益々深めてもらうこと、これこそが説教を行う意義です。だからこそ、ジョン・パイパーは説教を「講解賛美」と呼ぶ本を書いたのです。説教を聞いた後、私たちは聖句についてより深く知るようになるだけでなくーそれが講解の意図するところではありますが、神の栄光についてより深く理解し、神の栄光を反映して生きたいという思いを強められるべきですーそれが賛美の意図するところです。ペテロが自身についてどう述べているのかがそれほどまでに重要なのはこのためです。それは、教会の個々の人々が神の栄光に照らして自分を見ることができるよう助けることは、神のみ言葉の働きを通して長老のリーダーシップが発揮される部分であるからです。

神の栄光を宣言するみ言葉の働きーこれは、ペテロが2節で続けて**どのような人がこの長老の働きをなすべきか**について述べている、非常に重要な務めです。この長老の務めの第三の側面を3つの観点からみることができますが、その３つすべてがこの人ではなくこの人という形で述べられています。祈りをもって行うみ言葉の働きにより群れを牧するとは、意欲のある者によってのみ行うことが意図されています。2節は「強制されてではなく、神に従って自発的に」と言っています。単にポジションを埋める必要があるからという理由で、長老にならされたという人を求めているわけではありません。神の栄光のために神の御心を行いたいという願いを、神が与えてくださったから奉仕したいというのでなくてはなりません。そのような人であれば2節の次の部分「また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて」ということについても問題ないでしょう。経済的な利得を求めるのではなく、神の民を牧することによって神に栄光を帰そうとする人は、どのような報酬を受け取るかに関係なく、他の人が神に栄光を帰すことができるよう助け、心を

さきます。神が長老として召し、教会には関係のない仕事をしながら牧会をしてくださる方々は、その忠実で、喜び従う姿勢ゆえに最大の尊敬に値します。聖書は、一部の長老は何らかの報酬を受けていることを明確にしていますが、多くの場合は、牧師としての長老の務めは、その務めに対する報酬を受けていない人たちによってなされています。ですが、もし長老たちが、ここで神が語られたようなリーダーの役割を果たすなら、私たちよりはるかに大きな報酬が待っています。3節には長老のもう一つの側面が語られています。「割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。」常に自分の思い通りにしたり、仕切ったりすることは牧するときのリーダーシップスタイルではなく、イエス・キリストに従う者になるとはどのようなことかという模範になることです。1節でお話ししたように、長老のリーダーシップとは神の栄光を述べるみ言葉の働きを通して、神の民がその栄光を反映する生き方をするように変えられていくことです。長老のリーダーシップは羊飼いや牧師のリーダーシップであるというのは実に力強いものです。羊飼いは羊を導きますが、怒りや脅しや痛みを通してではありません。羊飼いの声を聴くよう、辛抱強く訓練するのです。羊を羊飼いについてくる他の羊の群れの中に入れ、羊たちが自然と羊飼いについてくるようにするのです。羊たちは羊飼いが導く先に、彼らが必要な美味しい食べ物や水があることを知ると、自分勝手にどこかへ行ってしまうことはありません。それは、一部の人々が考える牧師の権威とは全く異なるように聞こえるかもしれません。

そして、神がペテロを通して語られた、長老と牧者、つまり羊飼いの権威についての最も力強い言葉がここにあります。4節に「そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠をいただくことになります。」とあります。神のみ言葉を通して、神の教会を牧する者たちは皆、唯一の大牧者に仕える羊飼いなのです。つまり、長老である私が中心なのではありません。私の栄光や、ヒロ牧師の栄光、グラント牧師の栄光を人々に示す必要はありませんし、示したくもありません。人々が、すべての人々がイエス・キリストに従い、その栄光を見ることができるように導きたいのです。**それが長老の働きに4つ目の側面で、どの長老も主任牧師もイエス・キリスト以外は大牧者でないということです。**ですから、何をするにしても、我々は人々が自分たちではなく大牧者に目を向けるようにします。その姿勢を表すシンプルな言葉があります。謙遜であることです。

その態度は長老たちに見られるものでなくてはなりませんが、これは長老に限ったことではなく、教会全体にも言えることです。ですから、ペテロは最後に長老だけではなく教会に対して、聖霊を通して5節でこう言っています。「同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。」使徒ペテロを通して聖霊は、長老の務めは謙遜なリーダーシップであることを既に示していますが、ペテロはまず、若者たちに長老のリーダーシップを謙虚に受け入れるようにと呼びかけています。なぜペテロがこの特定のグループに語り掛けたのかは定かではありませんが、一般的に若い男性というのは、リーダーたちがたとえ謙遜な態度で権威を示したとしても、長老たちの権威に従うことが最も難しそうだからでしょうか。18歳や25歳、30歳の時のベン・ハワードがなぜまだ長老、ましてや主任牧師になる準備ができていなかったのか知っています。私はプライドが高く傲慢で、自分が何でも知っていると錯覚するに足りるのに十分な知識を神学校で学んだに過ぎませんでした。更にそこから、神の、そのみ言葉の、神の教会の、そして自分自身の理解において学び成長するためには、私より年上で賢明な牧師たちが、多くの年月にわたり私の人生に関わり、助けてくれる必要がありました。そして今もそれを必要としています。ですから、教会に複数の長老がいることは祝福です。ですが、若い人たちへ語り掛けたと思えた後、ペテロはこの書簡を読んでいるすべての人たちへのメッセージでこれを締めくくっています。私たち皆が謙遜を身に着けるべきです。人が私たちを見るとき、その衣服も見ます。人々がキリストに従う者を見るとき、謙遜を見るべきです。他者に対する謙遜は、教会を定義づけるものであるべきです。それはヨハネの福音書13:35で「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」とイエス

が言われた教会を定義づける点と密接に関係しています。コリント人への手紙　第一13章にある真の愛とは、自分の必要よりも相手の必要を優先し、相手に仕えることです。そのためには何が必要だと思いますか。謙遜です。長老が会衆の意思に従うことであれ、会衆が長老のリーダーシップを支持することであれ、ミニストリーのメンバーが執事のリーダーシップに従うことであれ、私たち一人一人がキリストにある兄弟姉妹として互いを愛しあうことであれ、謙遜な態度があって初めて可能なことです。

ある意味、謙遜は救いの土台です。私たちはへりくだって、創造主に背き、創造主を汚し、創造主に栄光を帰すことができなかった罪人として、自分自身を神が見ておられるように見なくてはなりません。どのように生きるべきかを命じる権威をもっておられる神が「私に奇しいことをなさって 恐ろしいほど（詩編139:14）」なのですから、自分が人生を最終的にコントロールできるわけではないことを認めなくてはなりません。そして、私たちはそのような生き方をできずに来ました。へりくだり、自分自身がそのような状態にあることを知るとき、私たちは罪を悔い改め、イエスに立ち返ることができ、神は御子イエス・キリストの死と復活に基づいて私たちの罪を赦すと約束してくださいます。これが、へりくだり、悔い改めて神のもとに来るものに与えられる神の恵みです。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる。」私が知っている中でも明石恒浩さんとグラント・モーガンさんは最も謙遜な人たちです。二人とも長老としてYIBCに仕えることに自信があったわけではありませんが、お二人ともがキリストの体である皆さんを通して明らかにされた神の召しに喜んで従われました。先週、教会として守っている基本的な教義の彼らの理解を確認し、彼らを吟味した私たち3人は、彼らが神によって召され、神のみ言葉を理解し、そのみ言葉を教会生活に適用する知恵があることを認めました。そこで今日は最後に、彼らに前に出てきてもらい、按手の祈りを捧げ、クリス牧師、浩也牧師と私が署名した長老按手証明書をお渡ししたいと思います。祈りましょう。

1Peter 5:1-5 Humility in the Church

About 4 months ago now, YIBC voted to approve our first two lay elders, Pastor Hiro and Pastor Grant. While I have preached about this and led towards this since becoming your Pastor in 2018, this has been a new thing for our church and for me as well. While I firmly believe that this was and is a huge step of Biblical church health for us, it also comes with growing pains in our understanding of what a healthy church is. For us as Elders, this is a period of growing together and in our understanding of our roles as Shepherds of the flock of God. It is also a time of growing for all of us as a church body as we adopted a Constitution that placed the rule of the church clearly in the hands of the congregation. It is no longer enough to just say we are congregational in our form of government, but it is time to encourage every member to take an active and joyful role in participating in the life of the church. So, you have supported the calling of more Deacons than this church has ever had so we can more effectively engage each member in participating in the Body of Christ and contributing to the unity of this local body of Christ at YIBC.

We did things a little out of order with this first process of ordaining Elders. We laid hands on them and kind of ordained them once you as a church chose them, so we could go ahead and establish our new structure at YIBC. But we never held an actual ordination council of other pastors that examines potential elders theologically for gospel ministry. We held that council last week as Pastor Chris Thomas and Pastor Hiroya Abe from Cross Church Yokosuka joined me in examining Pastor Hiro and Pastor Grant for ordination to Gospel ministry as Pastors. All three of us were unanimous in our agreement that these two men should be fully ordained and so with your previous election and choosing them as our Elders, I have the privilege today to present them with a formal certificate of ordination recognizing them as holding the Biblical office of Pastor, Elder and Overseer… all the same office. So we will close the service with that presentation today. But on this occasion, I thought it would be the perfect opportunity to look again at what the Bible says to and about Elders and about our responsibility as members of the church. If you will turn in your Bibles to 1Peter 5, I want to look at verses 1-5 today as we see the **humility in the church** on the part of ALL of its
members. Let's read these verses as we begin. 5 So I exhort the elders among you, as a
fellow elder and a witness of the sufferings of Christ, as well as a partaker in the glory
that is going to be revealed: 2 shepherd the flock of God that is among you, exercising
oversight, not under compulsion, but willingly, as God would have you; not for shameful
gain, but eagerly; not domineering over those in your charge, but being examples to the
flock. 4 And when the chief Shepherd appears, you will receive the unfading crown of
glory. 5 Likewise, you who are younger, be subject to the elders. Clothe yourselves, all of
you, with humility toward one another, for "God opposes the proud but gives grace to
the humble."

This passage of scripture is key to our understanding of Elder ministry, but it makes a broader application to the entire church as well that opens up the application beyond just Elders. In this passage we see several aspects of Elder ministry and how that ministry helps us grow in unity and church health. **The first aspect of Elder ministry that this passage makes clear is a definition of what an Elder is.** You would think that this is a pretty easy thing to understand, but in our Southern Baptist Convention of churches we have had a multi- year discussion that involves just that question. There are some who are arguing that women can be Pastors by using the argument that

pastor is a gift while Elder is an office, so we can separate those two titles and ordain women as Pastors and not Elders. The problem with that view is this passage. In addressing the Elders, God speaking through the apostle Peter does not just use the term Elders, he also uses the term pastor and overseer when addressing this same group of men. We see Elders in verse 1, but then in verse 2 he calls them shepherds. He says, shepherd the flock of God that is among you… The word "shepherd" or as we translate it sometimes, "pastor" is only found in two places in scripture. Here in 1Peter 5 and in Ephesians 4:11 And he gave the apostles, the prophets, the evangelists, the shepherds and teachers… You will see an alternative reading in the footnotes of the English Standard Version for Ephesians 4:11 of "Pastors". While these two passages are the only places where Pastor is used, in the modern church, especially Baptist churches, the word Pastor is used far more than the more Biblically prevalent word Elder. And in addition to seeing Elders called shepherds or pastors, we also see them called the third term Scripture uses for pastor or Elder, overseer. Notice the second part of verse 2 where the Bible says, "exercising oversight." That is the word is for overseer, which is the second most used Biblical term for the office we mostly call Pastor.

But the Holy Spirit through Peter helps us do more here than just see that this is the same office. By linking those three terms for Elder, he is giving us **a second aspect of Elder ministry in a partial job description of Elders as involving leadership.** That is implied in the the words shepherding and oversight. But this shepherding and oversight is different than being a CEO of a business. It is different than military style leadership, or what is talked about in most books on leadership. And in order to understand where he is going with this, we need to start with Peter's description of himself in verse 1. He says, as a fellow elder and a witness of the sufferings of Christ, as well as a partaker in the glory that is going to be revealed… This connection to being a witness to the cross of Christ and being able to taste and see the glory of God is the purpose of the ministry of the word in the life of the church by the Elders. Now why is that important? The Elders leadership must be applied primarily through the ministry of the Word. We see this in the book of Acts where the Apostles asked the church to choose the first Deacons. They said this was because their role in the church was narrowly defined in Acts 6:4 4But we will devote ourselves to prayer and to the ministry of the word." The Word of God and the time we devote to prayerfully applying the Word of God to the life of the church is the source of authority for an Elder. It is not about the strength of our personality but our devotion to God's Word. And when we teach and preach the Word of God, we want to point people to have a cross centered or gospel centered focus in their lives. Where daily, our sin and our need of Christ's grace extended towards us because of that sin comes more into focus, so that our vision of the cross and our need for the gospel on a daily basis becomes ever larger in our view. This only happens as we get an ever expanding vision of who God is and just how glorious he really is. When that happens, we will see our sin for how horrible it is in the eyes of a holy God. Romans 3:23 describes sin as anything that does not bring glory to God. 23for all have sinned and fall short of the glory of God. This is really the point of preaching… to explain Scripture within its context in such a way that it gives you an ever deepening understanding of the glory of our God. That is why John Piper has written a book that calls preaching, "Expository Exaltation." We should walk away from a sermon not only knowing more about a text of scripture – that is exposition – but growing deeper in our understanding of God's glory and stronger in our commitment to living to reflect God's glory – that is exaltation. That is why Peter's description of himself is so important, because helping

each person in the church see themselves in light of God's glory is integral to the Elder's leadership through the ministry of the Word of God.

This is such an important task - the ministry of the Word that declares the glory of God – that Peter continues in verse 2 with a warning of **what type of man should be doing this Elder ministry. We see this third aspect of Elder ministry** in three ways, all three framed in terms of not this man, but this man. This shepherding by the prayerful ministry of the Word is meant to be done only by those who are willing. Verse 2 says, not under compulsion, but willingly, as God would have you… You do not want Elders who have to be pushed into the role simply because you need to fill a position. The motivation for serving must be from God himself stirring that desire in a man's heart to do God's will for God's glory. That type of man will not have a problem with the next part of verse 2, not for shameful gain, but eagerly… Rather than having the wrong motivation of financial gain, a man seeking to glorify God by shepherding his people will be eager and seeking to assist others in glorifying God no matter what compensation he may receive. The men who God calls as Elders who shepherd the church while also working a non-ministry related job deserve our utmost respect for their faithful, willing, and joyful obedience! The Bible makes it clear that some Elders have always been paid in some way, but many times the pastoral, Elder ministry is done by those who are receiving no compensation for their ministry. But if the Elders fulfill their leadership role in the way that God explains it to us here, there is a far greater reward that awaits us. Then verse 3 gives us one more character trait of an Elder when it says, 3 not domineering over those in your charge, but being examples to the flock. Always having your way and being in charge is not the leadership style of our shepherding, instead we are to be a model of what it means to be a follower of Jesus Christ. As I said from verse 1, the leadership of an Elder is through the prayerful ministry of the Word that declares the glory of God in such a way that the people of God are transformed as they live their lives to reflect that glory. It's such a powerful picture that the leadership of an Elder is that of a Shepherd or Pastor. A Shepherd may lead sheep, but its not by anger or threats or pain. It is by patiently training them to hear that shepherds voice. It's by putting the sheep into a herd of other sheep that are following him and then those sheep naturally follow the shepherd. It's by them knowing that where he is leading them will bring good food and water to give them nourishment, so they do not go off on their own. That sounds nothing like some people think of as pastoral authority.

And here is the most powerful statement regarding Elders and pastoral, really shepherd, authority that God makes through Peter. Verse 4 says, [4] And when the chief Shepherd appears, you will receive the unfading crown of glory. All of us who shepherd the church of God through the Word of God are all lesser shepherds, under shepherds, to the one chief Shepherd, Jesus Christ. So, its not about me as an Elder. I don't need or want to point people in any way to my glory or to Pastor Hiro's glory or to Pastor Grant's glory. I want to point people, all people to follow Jesus Christ and see His glory. That's **the fourth aspect of Elder ministry that no Elder is the Senior Pastor, the Senior Shepherd, only Jesus Christ**. So, in everything we do, we point people to see that Chief shepherd and not ourselves. There is one simple word that describes this attitude – humility.

And that attitude should be present in Elders, but not just Elders, the entire church body. So, Peter ends by addressing not the Elders but the church when he says through

the Holy Spirit in verse 5, [5] Likewise, you who are younger, be subject to the elders. Clothe yourselves, all of you, with humility toward one another, for "God opposes the proud but gives grace to the humble." The Holy Spirit through the apostle Peter has already shown that the Elder ministry is one of humble leadership, now he first calls out what seems to be the younger men to be humble in their accepting of the Elder's leadership. It's not entirely clear why he would single out this specific group, but it seems reasonable based on sort of stereotypes of young men that this group would have the hardest time submitting to the authority of the Elders, even if that authority was exercised in humility. I know why 18 or 25 or even 30 year old Ben Howard was not ready to be an Elder yet, especially in a setting where I would have been the Lead Pastor. I had a lot of pride and arrogance and just enough knowledge from Seminary to think I knew everything. It would take many more years of having other Pastors older and wiser than me pour into my life and help me understand how much I still needed to learn and grow in my understanding of God, His Word, His church and myself. Even now I still need that, which is the blessing of a plurality of Elders within a church. But after that address to what seems to be young men, Peter ends with moving to everyone else reading this letter. All of us are to be clothed with humility. Clothing is what people see when they look at us, and when people look at followers of Christ, they should see humility. Humility towards others should be a defining mark of the church. This goes hand in hand with what Jesus says is the defining mark of the church in John 13:35 By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another." Real love from 1Corinthians 13 is serving others, putting their needs ahead of your own. Guess what it takes to do that? Humility. Whether it is the Elders submitting to the will of the congregation or the congregation supporting the leadership of the Elders or the ministry members following the leadership of the Deacons or each of us loving each other as brothers and sisters in Christ, it is only possible with an attitude of humility.

Humility is in a way at the foundation of salvation. We have to humble ourselves and see ourselves as God sees us, as sinners who have disobeyed, dishonored and failed to glorify our Creator. We have to recognize that we do not have ultimate control of our lives, because we were fearfully and wonderfully made (Psalm 139:14) by a God who has the right to tell us how to live. And we have failed to live in that way. When we humble ourselves and see ourselves in that state, then we can repent of our sins and turn to Jesus and God promises to forgive our sin based on the death and resurrection of his son, Jesus Christ. This is God's grace given to those who humble themselves and come to him in repentance. God opposes the proud, but gives grace to the humble. And two of the humblest men I know are Hiro Akashi and Grant Morgan. Neither of these men felt up to the task of serving YIBC as Elders and yet both were willing to follow God's call as made clear through you, the Body of Christ. Last week, we examined them in their understanding of foundational doctrines that we hold to as a church, and all three of us doing the examining saw God's call on their lives and their understanding of God's Word and wisdom in applying that Word to the life of the church. So today, we will end by asking them to come forward, and I will pray over them a prayer of ordination, and then present to them an ordination certificate signed by Pastor Chris, Pastor Hiroya and myself.

Let's pray